

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

公表:令和6年3月5日

事業所名:Brighten School of Special Education

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令を尊守したスペースとなっております。お子様の特性や活動により、適した広さの部屋を使用するようにしたり、グループに分けて行うなどの工夫しております。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		法令で必要とされる配置数は確保しており、更に手厚くお子様達の療育ができるように法令より多い人数で療育にあたっております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	建物の構造上、トイレのところに段差がある環境です。その為、ゲートをつけ、指導員が見守りしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		朝、夕の掃除、消毒、換気(換気は療育前後)をしております。療育室の両側の窓は開かない構造となっておりますが、天井に換気システムが設置されております。絵の具を使用する活動が多い為、床マットの汚れが落ちにくくなって繰る為、定期的にマットの張替を行っております。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々の振り返りやミーティング等で話し合いが出来ております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		1年に1度の評価を実施しております。保護者様からの評価を本社や職員間で共有し、改善すべきところは改善できるように努めております。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所としての自己評価も行い、評価の結果はHP上にて公開致します。またお便りとして配布したり、Brightenの玄関にあります閲覧ファイルにても公開致します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者評価はまだ行っておりません。今後、第三者評価の実施も検討していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		社内研修の機会を定期的に設けております。社外研修にも積極的に参加しております。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメントや保護者様からのニーズの聞き取りをもとに、課題を分析し支援計画を作成しております。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化されたアセスメントツールを使用しております。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		東京都のガイドラインで示されている支援の中から、保護者様のニーズやアセスメントをもとに支援内容を選択しております。本人支援の他に家庭支援として、保護者様からの相談対応をさせて頂いたり、ご希望のあるご利用者様の保育園や幼稚園にも訪問させて頂き、連携を図っております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画の目標達成に向けて、職員間の申し送りにて支援内容を確認してから支援を行っております。目標達成のペースはそれぞれのお子様によって違いますが、今後も支援計画に沿って支援を行ってまいります。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		プログラムは日本人職員、外国人職員、皆でアイデアを出し合い、日本のみにとどまらず、海外の視点も盛り込み、プログラムを検討しております。一人一人のお子様の顔を思い浮かべながら、興味を引き出せるようなプログラムを立案し実行しております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		お子様の特性、発達段階、興味関心を常に観察しながらプログラムへと反映し、そこへ日本、海外を含めた季節的な要素も取り入れながら作成しております。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		基本的には集団療育を提供していますが、個別の療育が必要なお子様には随時、部分的に個別活動を提供しております。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援前に必ず打ち合わせを行い、支援内容や役割分担を確認しております。
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援後には必ず振り返りを行い、Project内容はどうだったかや支援方法、お子様の様子について等の話し合いを行い、次の支援に活かすことができるようにしております。	

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	保護者様に向けた記録の他にも、支援計画に応じた記録をとっており、それをもとに支援の検証、改善につなげております。
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	6ヶ月以内で定期的に行っております。達成目標や支援内容について、保護者様や指導員と確認し、見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	児童発達支援管理責任者が中心となり、参加させて頂いております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	必要時、関係機関との連携を行い、情報共有に努めております。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		現在、対象となる児童がおりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		現在、対象となる児童がおりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		まだ移行支援の場面を迎えておりませんが、その場面があった際には連携を取らせて頂きたいと考えております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	就学するお子様に対して、就学支援シート等で、小学校への引継ぎや情報共有を行っております。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	助言を受ける機会はまだまだありませんが、センター主催などの研修の受講はしております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	渋谷区の児童発達支援・放課後等デイサービス等定例会には定期的に参加しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡ノートやメール、お迎え時、面談などで情報共有を行っております。しかしながらお迎え時のフィードバックの時間が限られている為、十分な対応ができていない部分もあります。限られた時間の中でもしっかり情報共有ができるように努めていきたいと思っております。また保護者様の方から話したいことがある際に、その時に時間がない場合は改めて面談やお電話等でお話をさせて頂くなど時間を作ることができますので、遠慮せずにお申し出頂けたらと思います。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○	現在はペアレントトレーニングを実施するまでには至っておりませんが、ご相談があった際にはご家庭での関わり方等の助言を行っております。ご相談のある方はいつでもお申し出ください。また今後はペアレントトレーニングの実施も行っていきたくと考えております。	
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	ご契約時に説明をさせて頂いております。運営規定に関しましては事業所入口にあるファイルにていつでも閲覧できるようにしております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	ガイドラインに沿って支援計画を作成させて頂いております。支援計画作成後は保護者様にご説明し、同意を頂いております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	ご相談を受けた際には助言等を行っておりますが、子育ての悩み等をすべての保護者様から聞き取ることがまだ出来ていない状況でもあります。今後はこちらからも積極的にお声がけし、相談しやすい環境を作っていきたいと考えております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	現在は1年に1回のペースで保護者交流会を実施しております。感染の状況をみながらはなりますが、定期的に開催をしたいと考えております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	相談の申し入れがあった際には、児童発達支援管理責任者へ報告し、対応をさせて頂いております。

正等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	Brightenでは限定公開のInstagramにて写真を公開したり、フィードバック時に写真や動画を見せながら活動の内容をお伝えしています。令和5年3月より月の活動をカレンダーにし、お渡ししております。連絡体制としましては、メールやお便りにて行事予定等のお知らせをしております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	お子様の持ち物の入れ間違いなどが発生しました。職員間で入れ間違いを防ぐ対策を話し合い、再発防止に努めて参ります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	お子様に対しましては、特性により視覚的に伝えるなどの配慮をしております。保護者様に対しましては気持ちに寄り添いながら対応するように配慮しております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	現在は地域住民を招待するまでには至っておりませんが、地域の商店にてお買い物体験や郵便局、消防署見学等で地域との関わりを持っております。今後も地域と関わることのできる療育内容を考えていきたいと思っております。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	各マニュアルを策定し、訓練を実施しております。緊急時等のマニュアルや訓練の実施につきましては契約時にご説明しております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	各マニュアルを策定し、当事業所では毎月、訓練を実施しております。実際にいつ訓練をしているのか等の発信が不十分であった為、今後は訓練を実施した際に皆様にお知らせしていきたいと考えております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○	契約時に確認をしております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	食物アレルギーのあるお子様については、食事中的の見守りを徹底するなど対応しております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	該当する事例が起こった際には報告書を作成し、職員間で再発防止に向けての対応を検討しております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止委員会を設置しており、マニュアルにて、職員に周知をしております。職員に向けた虐待防止研修も実施しております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束を行う際の状況や方法について契約時に説明を行い、同意を頂いております。現在までそのような場面はありません。